



議会だより な お し ま

2026
No.215
令和8年4月10日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



旅立ちの日、友との思い出を胸に

- 商業・観光交流複合施設等整備に着手(新年度予算)・・・2～4P
- 水道料金の値上げは(町長・教育長報告)・・・6～7P
- 救急搬送業務の改善を等(一般質問に6人が問う)・・・8～10P
- 4月より小・中学校の給食料無償化(委員会レポート)・・・12P
- 子育て世代の希望に(がんばりよるで)・・・14P

観光交流複合等整備に着手

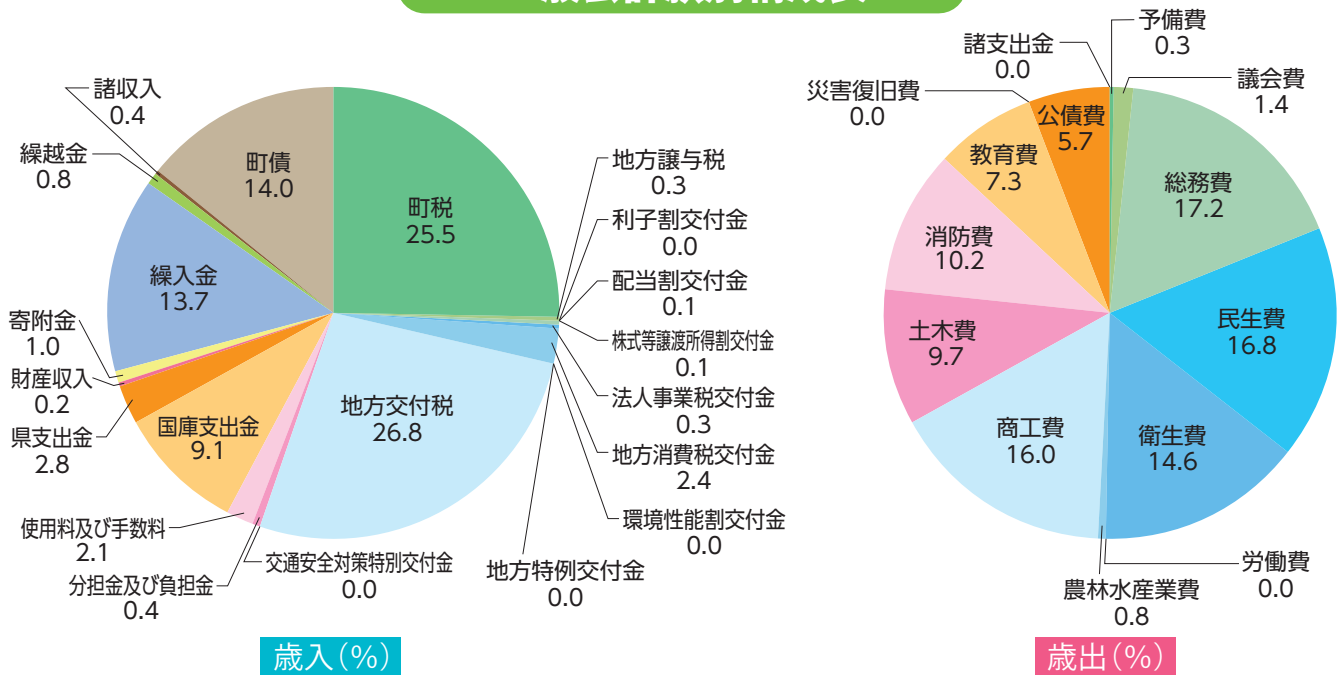


〔3月定例会〕

〔令和8年度一般会計予算 38億4257万円〕

3月定例会を5日から開催。令和8年度予算など議案31件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
 一般質問には6氏が登壇し、町政を問いました。
 予算大綱・各予算案に対し活発な質疑を行ない、11日に閉会しました。

一般会計款別構成表



※歳入・歳出の款別構成を円グラフでパーセント表示しています。

令和8年度予算総括表

会計	予算規模 (万円)	対前年度比 (%)
一般会計	38億4257	13.7
特別会計	国民健康保険事業	3億5781 ▲ 5.7
	介護保険事業	4億4556 5.9
	診療所事業	2億8450 ▲ 0.1
	後期高齢者医療事業	8983 19.1
	宅地造成事業	31 0.3
	小計	11億7801 1.5
簡易水道事業会計	5億6678 4.6	
下水道事業会計	2億6648 0.1	
合計	58億5384 9.4	

※簡易水道会計及び下水道会計の予算規模は、収益的支出－減価償却費＋資本的支出とする。

予算大綱 (抜粋)

本町がさらに発展し輝き続けていくために、町民の利便性と地域経済の活性化を図るため「商業・観光交流複合施設」の整備を進めます。また、南海トラフ地震対策、異常気象による浸水・土砂崩れへの防災・減災対策を加速させていかなければなりません。なお、本町の財政状況は、年々厳しさが増しており、今まで以上に町職員が危機感と使命感をもって取り組んでいく必要があると考えています。

商業・施設

主な事業

○商業・観光交流複合施設等整備事業
(4億9300万円)

令和9年度の完成を目指すし、宮浦港付近に生協の移転とあわせ日常生活や商業・観光交流、防災の中核となる複合施設を整備する。



複合施設建設予定地

○地域こどもの生活支援強化事業
(1300万円)

一般社団法人キッズポートが行なっている小学生の放課後等の預かり事業を令和8年度以降は、町の委託事業として実施するとともに、対象を高校生まで拡大する。



セイラーズクラブ

○消防団第3分団屯所更
新工事
(2億4900万円)

現屯所が複合施設建設予定地にあり、建物の老朽化もみられるため、総合福祉センター近くの高潮や津波被害の影響がない高台に移転する。



現第3分団屯所



第3分団屯所建設予定地

○本村49号線道路改良事業
(750万円)

本村石場付近の町道の一部(施工延長51.5m)の舗装及び道路側溝を改良する。



本村49号線

○港湾県営事業負担金
(7790万円)

宮浦港の浮桟橋新設整備を含めた県管理港湾に対する県営事業の町負担金。



宮浦港 浮桟橋設置予定地

○救急患者搬送業務の拡
充
(9747万円)

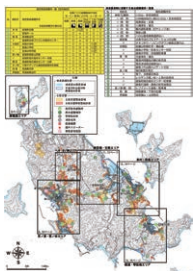
令和8年度から、夜間と休日の救急患者搬送業務について、医師の指示により専門的な処置ができる救急救命士の資格をもった民間業者に委託する。



迅速な搬送のために

○ハザードマップ更新
業務
(120万円)

南海トラフ巨大地震の被害想定見直しに伴い町ハザードマップを改定する。



災害に備えて

○小・中学校給食料無償
化事業

町単独で第2子以降を無償としていた給食料について、国の小学校無償化事業の実施に伴い、中学校も町単独で無償とする。



無料になる給食

○小・中学校1人1台タブレット端末更新
(1133万円)

令和2年度のギガスクール構想で整備されたタブレット端末を新たに更新(202台)する。



タブレットを更新

主な質疑

今まで以上に頼られる診療所に

Q (西岡) 時間外診療の対応に不満の声が多い。見直しは。

A (町長) 改善策を検討中だ。医師・看護師・事務局が一体となつて対応をしないといけない。新しく救急救命士による救急搬送体制を確立していく。

人口減少対策は

Q (山上) 住宅対策等を検討したいとのことだが、具体策は。

A (町長) 人口増には住宅が必要だが、複合施設建設等で今は厳しい。それらが落ち着いたら町営住宅、また宅地造成等を考えていく。

入居条件の見直しを

Q (山下) 町営住宅に空き家があるが、入居条件を変えられないか。

A (町長) 空き家は多くはない。改良住宅は法的な縛りがある。

給食費の無償化は

Q (山上) 国の施策により小学校の給食費は無償化される。町の単独事業として中学校も他町では幼稚園の給食費や保育料も完全無償化との報道があるが、幼児学園は。

A (町長) 町では現在、第3子以降が無償化されており、もう少し先で検討したい。

今後の対策は

Q (西岡) 人口増加ひとつのことだが、今後の対策は。

A (町長) 移住が大きなメリットだが、住宅がなければ移住はできない。今は複合施設建設に全力をあげ、その後検討をし、できれば早い時期に建てたい。

予算関係も見極めながらやっていく。

各基金が減少しているが

Q (宮原) 財源不足を補うため財政調整基金より4億2千万円取り崩して繰り入れている。これについての考えは。

A (町長) 町の財政を運営していくためには借金をするか基金を取り崩すか。財政調整基金の減少はやはり厳しいものがある。しかし、我々は増やす努力もしている。町の財政をキチッとやっていく。

貸付条例の一部改正とは

Q (西岡) 看護学生修学資金貸付条例の改正内容は。

A (健康推進室長) 看護師のほか、保健師と社会福祉士を対象職種として追加する。町民の福祉向上のために必要な職種と考える。

複合施設工事の概略は

Q (松島) 設計から完成までの説明を。(町長) 現在、基本設計をしている。令和8年度に実施設計、9年度から着工し、9年度末までには何とか完成させたい。

Q (松島) 完成後、すぐに運用となるのか。

A (町長) 竣工したら速やかに移転という考えで進めている。

Q (小野) 売り場スペースはどのぐらいになるのか。

A (町長) 売り場面積だけでなくバックヤードも必要なので、今後協議していく。

照明のLED化は

Q (小野) グラウンドの照明、改良予定は。

新聞記事だが、低い低いと言われている非常に心外だ。

A (教育次長) 順次LED化の予定で、8年度は駐車場側の電柱1本、電球8個分LED化の予定だ。

県下最下位?

Q (松島) 防災・減災対策もさらに加速させていくとある。先日新聞一面に、県内の個別避難計画作成率が全国トップとのこと。しかし、県内全市町別に見ると、直島町が一番下だった。

A (健康推進室長) 当町の対象者が要介護1以上に対し、他の市町は大体3以上と、基準が違うのでそういう結果となっている。

(町長) 自主防災会にもがんばってもらい、町もがんばっていかざるを得ない。

新聞記事だが、低い低いと言われている非常に心外だ。

討論

一般会計

賛成(西岡)

町税収入が一定程度回復が見込まれるものの、前年度同様依存財源の伸びは期待できない状況となっている。厳しい状況だが、引き続き人口増加対策、移住定住促進、子育て支援、福祉の充実を図り、また観光交流複合施設整備事業など、限られた財源で、他にはない当町ならではの特色と魅力ある財政運営を要望し賛成する。

特別会計

賛成(西岡)

(診療所事業)

人口減少に伴い、年々診療収入が減少傾向であり、一般会計からの繰入金も増加しているが、離島ながら医師2人で24時間365日体制を維持し、町民の生命を守り愛される診療所を目指し、繰入金を少しでも削減できるよう、経営改善を要望し賛成する。



条例改正

認定こども園条例の一部を改正する条例制定

(趣旨)

認定こども園で令和8年度から実施する、乳児等通園支援事業の負担金を定めるための条例改正。

(主な内容)

対象年齢は、0歳6カ月～3歳未満。平日の8時30分～16時30分。料金は1時間300円。

企業版ふるさと納税基金条例制定

(趣旨)

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業で、法人から寄附された企業版ふるさと納税の有効活用、円滑な制度運営を図るため「企業版ふるさと納税基金」を設置するもの。

Q (山上) 企業からふるさと納税をしたいと話があったのか。

A (まち観課長) 今のところ見込みはない。活用事業は①しご

とをつくる事業で、雇用を創出する。②人の流れをつくる事業で、新しい人の流れを創出する。③結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業で、子育て支援の充実を図る。④魅力的な地域をつくる事業で、住まいの確保、定住支援で、安心して暮らせる環境を構築するなどだ。

看護学生修学資金貸付条例の一部を改正する条例制定

(趣旨)

看護・介護分野の人材確保は喫緊の課題で、医療・福祉体制の強化は、多様な専門職の育成が不可欠で、優秀な人材確保の観点から、貸付対象職種を拡充するための条例改正。

(主な内容)

貸し付け対象の看護学生以外に、保健師、社会福祉士を目指す人も貸し付け対象とするもの。

組織改革に伴う関係条例の整理等に関する条例制定

(趣旨)

令和8年4月1日から町行政機構の組織改革に

伴い、関係条例の一部を改正するための条例改正。

(主な内容)

まちづくり観光課を廃止。環境水道課を産業環境課に。建設経済課を建設水道課とするもの。

診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

(趣旨)

病床数の見直しで、非稼働病床を削減するための条例改正。

(主な内容)

診療所の一般病床13床を9床に減らすもの。

簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定

(趣旨)

災害その他非常の場合に、他の水道事業者が指定した水道工事業者に工事が可能とする規定を追加するための条例改正。

(主な内容)

水道工事で、町が指定している業者以外に、他の水道事業者が指定している水道工事業者も、工事ができるようにするもの。

監査報告

住民サービスの向上と一層効率的な行政運営を

監査委員 大林 清

// 浜口 敏夫

指摘要望事項

令和7年度の財政事情は、税収等については、町内各企業収益の設備投資にかかる償却資産の増加に伴い、固定資産税が増収となっており、地方税収入等が一定程度回復することが見込まれるが、社会保障関係費の増や、診療所会計、下水道会計への繰入金が多額であるため、楽観視できない財政状況である。今後は、事務事業や経費の節減・合理化、公共事業の長期的な計画の再検討など、なお一層の計画性と費用対効果を重視した事業を実施するようお願いしたい。

《一般会計》

歳入では、町民税や固定資産税が増となっているが、ふるさと応援寄附金は大幅に減収となっている。歳出では、庁舎議場録音システム等更新、総合福祉センター大規模改修、第一分団屯所更新、中学校屋上防水改修などが実施されている。特に効果のある事業を最優先に進めるほか、税の滞納整理に対する取り組みを一層強化するよう望む。

《特別会計》

《国保会計》 今年度上半期の1人当たりの医療費及び1日当たりの医療費の平均は県内市町の中で最も高い状況である。国保財政を取り巻く環境は、今後も大変厳しい状況が予想される。改善策として、医療費適正化対策については、特定検診・特定保健事業の充実をはじめとする医療費抑制の強化に努め、国保税滞納整理の取り組みを強化し、健全な財政運営に向けて一層の努力を望む。

《診療所会計》 入院患者数は依然低調で、それに関連する病室使用料も減少している。毎年一般会計からの多額の繰り入れで対処しているが、医師・看護師・事務一丸となって診療所会計の根源である診療収入に欠かせない患者の確保に努め経営改善に取り組みよう望む。

《下水道会計》 使用料とともに一般会計からの繰入金が管理運営の主要な財源となっている。老朽化が進む機器や設備に係る長寿命化工事や公債費などに多額の費用を要することから、継続した一般会計からの繰り入れが必要であるため、今後より一層の経費節減に取り組み、衛生的な生活環境確保や水質保全に努めるよう望む。



小林町長

2年ほど先になるのでは

水道料金の値上げ いつごろに

(主なもの)

- 12月8日 就実大学の八巻教授ほかが挨拶等のため来庁されました。
- 12月8日 岡山県南部水道企業団を訪問し、年末の挨拶を申し上げます。
- 12月9日 歳末見舞金を配布しました。
- 12月16日 エコアイランドなおしま推進委員会が開催されました。
- 12月18日 三菱マテリアル(株)直島製錬所の横山事務部長が三菱マテリアル直島生活協同組合が保有している株式についての説明のため来庁されました。
- 12月24日 一般社団法人キッズボートの植松理事ほか年末挨拶のため来庁されました。
- 12月25日 四国汽船(株)田邊専務ほか船便の時刻表改正の説明のため来庁されました。
- 1月11日 消防団の出初式が開催されました。
- 2月3日 直島ライオンズクラブほかによる小学校へのライフジャケット贈呈式が開催されました。
- 2月18日 国立大学法人香川大学の上田学長ほか国立大学協会総会後の直島視察についての説明のため来庁されました。

主な質疑

水道料金値上げは

Q (西岡) 近年物価が高騰しており、そろそろ水道代も上がるのではないかと町民の声もある。事前に知らせてくれるのか。

A (町長) 水道料金の値上げは避けては通れないと思う。たぶん玉野市も近々値上げするのではないかと思うが、当町においては2年ほど先になるのではと考える。確定ではない。

無料休憩所等に替わる場所は

Q (浜口) エコタウンハウスは撤去される予定になっている。ここで利用されていた無料休憩所等に替わるスペースを商工・観光交流複合施設の中にする計画はあるか。

A (町長) この施設はいろいろなことに活用されてきた。建設予定の複合施設には商工会の会議室等も作る予定であるので、十分検討する。



無料休憩所のあるエコタウンハウス

時刻表改定延期の理由は

Q (山上) 四国汽船の時刻表改定は、当初4月からと聞いてい

たが、町長の説明では未定とのことだった。延期となった理由と今後の予定は。

A (町長) 改定は4月1日からという考えで進めていたが、風戸港のダイヤ1便を宮浦港に移すことになっていることや船員の労働条件が厳しいということが理由だ。確定ではないが、現在、6月1日からの改定を予定している。



時刻表改定はいつ

挨拶以外に目的は

Q (宮原) 就実大学の教授は挨拶以外に何か目的はあったのか。

A (町長) ほかにもう1人来られたが、その方も直島出身の就実大学の教授で、後日、世界的に有名な指揮者森山俊吾さんと私の3人でオンラインで話した。森山さんは直島で何ができるかを模索しているとのこと。



津山教育長

直島で勤務を

教員試験に合格したら

(主なもの)

- 12月2日 人権同和問題職員等研修会が開催されました。
- 1月10日 二十歳のつどいが総合福祉センターで開催されました。
- 1月14日 香川県子ども会育成連絡協議会会長他が来庁し、令和10年度開催予定の第61回全国子ども会育成中央会議・研究大会の説明を受け、運営等の協力を依頼されました。
- 1月29日 国際交流推進協議会が開催されました。
- 2月9日 令和7年度目標申告・評価制度最終面談を幼小中園長・校長と実施いたしました。
- 2月17日 民生児童委員会が開催され、要保護・準要保護児童生徒の認定について検討しました。
- 2月20日 「香川みらい先生チャレンジプログラム直島編」として、香川大学教育学部1年生19人に、本町の教育を紹介し、小学校6年生の外国語授業を中学校で公開しました。
- 2月25日 学校外活動実施委員会が開催され、令和7年度は6つのサークルに、小中学生61人が参加しました。
- 2月27日 「男女共同参画講演会」が総合福祉センターで開催されました。



二十歳のつどい

主な質疑

表現リズム 遊びとは

Q (西岡) どのいった体育の授業なのか。

A (教育長) 子どもたちに、遊園地のコーヒーカープやジェットコースターになった動きを表現し、ダンスの学習につながり、体育能力を伸ばす授業だ。

Q (西岡) 定期的に行なうのか。

A (教育長) 香川県で初めて開催されるため、日程とテーマぐらいしか決まっていない

A (教育長) 学習指導要領に則ったものだ。

どのいった協力が

Q (中根) サンポーターで開催される、

全国子ども会育成中央会議・研究大会で、当町がどのいった協力をするのか。

A (教育長) 香川県の

幼小中の目標達成は

Q (宮原) 幼小中の令和7年度目標申告だが、どんな話があったのか。

A (教育長) 幼小中それぞれ目標は達成できているとの報告だ。幼児学園では、認めて褒めることに努め、達成感や充実感を味わい、小学校は、児童が自分で決定して、活躍を増やせたという報告を受けている。中学校は楽しみながら学べる生徒の育成を進めたいとの報告だ。

が、分科会の運営スタッフのお手伝いだ。

サークルの内容は

Q (山上) 学校外活動の6つのサークルの、内容と参加人数は。

A (教育長) テニス6人・サッカー12人・お茶16人・卓球10人・アートスタジオ6人・おどり8人だ。

任したいとのことばなかった。

なんの目的なのか

Q (小野) 中高校生の国際交流事業だが、令和7年度は引率者は1人だったが、来年度は2人となっているのは、どうしてなのか。

A (教育長) A L Tもある程度日本語が話せるが、子どもたちや保護者が安心していただけるよう、A L Tと日本人の引率者2人にした。

どんな反応だったか

Q (浜口) 香川大学教育学部の学生が、当町に来て勉強しようだが、直島に赴任したいという、学生はいたか。

A (教育長) 教員採用試験に合格したら、ぜひ直島で勤務してほしいと話したが、赴

6人が登壇

町政を問う

内容は質問者の責任において作成しています

公共施設の安全性は

〔町長〕 財政状況を考慮し対応



西岡 議員

役場庁舎は、災害の情報や対応拠点として重要な役割を担うキーパーソンとなる。しかし、庁舎は建設から43年が経過し、老朽箇所が見受けられる現状だ。
庁舎出入口のエン

ランスの軒
天が劣化、一
部が開き落
下の恐れが
ある。また、
1階の照明
は、金属製の
直径2m
の照明が吊
り下がって



庁舎1階照明

いて、大きな揺れに耐え
きれず落下の危険性があり、
窓口に来ていている人や
職員に被害が懸念される。
庁舎にいられた人や職員の
危険回避のため、軽量化
した照明に取り替えたら
らどうか。

予算等もあり、早期に
できることは早々に実施
し、費用がかかる物は複
数年計画で実施してはど
うか。
A (町長) 公共施設
は全て耐震基準を
満たしている。庁舎長寿
命化計画に基づき、長寿
命化を図っている。

また、1階の照明につ
いては、令和7年度の当初
予算に計上する予定だっ
た。

しかし、議場録音シス
テムや庁舎発電機の更新
等、突発的な補修対応、
また、物価高騰に伴う工
事費の増大、さらに、町
の最重要施策である観光
交流複合施設等の財源確
保のため、限られた財源
で一度に改善するのは非
常に難しい現状だ。
財政状況を考慮しなが
ら、できる限り速やかに
対応したいと考えている。

救急搬送業務の改善を

〔町長〕 専門業者に委託する



中根 議員

現在、救急搬送業務で
は町民有志の減少によ
り、業者に委託している。
しかし、要請してから
30分以上かかったとか、
ストレッチャーの取り扱
いが悪いとかいろいろ町
民からの苦情がでてい
る。患者本人や家族に
とって30分はすごく長い
長い時間だ。不安や恐怖
は想像を絶する。

現状のシステムだとど
うしても時間がかかる。
システムを変更し、町民
の安全・安心を目指して
ほしい。
ストレッチャーの取り
扱いも、講習などしっか
り行ないミスのない搬送
業務をお願いしたい。
せつかくできた60分、
24時間体制の救急搬送業

今後、夜間と休日は、
人員の維持や確保が困難
であることから、新たに
民間の救命救急士による
救急搬送の
専門業者に
委託する予
定だ。

この業者
は、非常備
消防自治体
に向けた救
急搬送業務
の受託を行
なっている
会社で、経
験や実績も
ある会社だ。
また、搬送

業務のほかにも、救急講
習会の開催やイベントの
救護スタッフとして、さ
らに災害時の医療支援ス
タッフとして支援いただ
くことも想定している。
Q すばらしいこと
だ。時間も早くな
り、何より専門の救急救
命士により安心だ。将来、
救急艇はどうなってい
くのか。
A (町長) 将来的に
救急艇についても
考えていく。そうならば
ワンパッケージですべて
いける。



救急搬送業務の強化を



松島 議員



宮原 議員

町財政は、各基金の減少・観光交流施設の起債の返済・第3分団屯所建設・納言様埋立地の購入・町施設長寿命化整備の資金導入などで、以前にもまして財政の見直しが必要となっている。以前の質問時、財政計画は策定しないと回答された。補足するが、先日の新年度予算説明時、担当課長から、中期財政計画の策定

本村、泊ヶ浦の「ベダイさん」は町有地だ。この地にコンクリート製の廃墟が存在している。設置の経緯は不明だが、景観を大きく毀損していることは間違いない。昔の景観を回復してほ

「ベダイさん」廃墟の撤去を

〔町長〕撤去の予定はない

しいという意見は多い。撤去してはどうか。

A (町長) 確かに町有地だ。しかし、コンクリート製の工作物は町が設置し管理しているものではない。

聞くところによると民間の養魚場の倉庫などと

また、現地への経路は私有地で封鎖されてい

推測されるが、詳細は不明だ。景観を大きく毀損しているとの指摘だが、少なくとも70年ほど前から存在しており、既に泊ヶ浦の景観の一部として認知されていると考える。

また、現地への経路は私有地で封鎖されてい

また、現地への経路は私有地で封鎖されてい

財政計画 策定しないのか

〔町長〕策定しない

の更新をしたいとの説明があった。これは、計画しないと町長の回答と矛盾しないか。

A (町長) 中期財政計画より詳細な計画の策定かと思ったこと、矛盾しない。

Q 現在の中期財政計画は令和8年度までだが、8年中には観光交流施設や第3分団屯所の建設などで多額の予算が必要だが、修正をし

Q 現在の中期財政計画は令和8年度までだが、8年中には観光交流施設や第3分団屯所の建設などで多額の予算が必要だが、修正をし

算が必要だが、修正をし

したら議会へ説明する。財政の目安のひとつ ◎財政調整基金(貯金) 平成27年 16・1億円

る。外部からの進入は困難で危険性はないと判断しているの

で、直ちに撤去する予定はない。

Q 立ち入り禁止で訪れる人はいないとのことだが、干潮時には

浜伝いに行っている。危険はないというが、通常

の通路ではないので若干の危険性は存在する。



ベダイさん

返礼品の 県・国への照会は

・令和6年 6・4億円
・令和8年度(見込み) 2・4億円

町の厳しい財政の対処は、収入面では、何らかの税等の項目の新設で増やすこと。支出の面ではスクラップアンドビルドでの費用の削減だ。ふるさと納税の返礼の検討は、収入面での提言だ。

Q 町長は、以前の一般質問の回答で、国等への照会を行なう。ただし、ほか

A (町長) まだ策定していない。策定

していい。策定したら議会へ説明する。財政の目安のひとつ ◎財政調整基金(貯金) 平成27年 16・1億円

私も現地確認したが、落書きがかなりあったので、前向きに撤去を検討されたい。

A (町長) 確かに干潮時には行けるが、危険はないと思う。町の建物ではない物を町が撤去しろといわれても難しい。

(松島) 町有地を管理・保全するのは町であり、何ら対策をしないのは問題であると指摘しておく。

国への照会の内容については、詳細は聞いていない。

(宮原) ふるさと納税の収入は、普通交付税に算入されないで、交付税が減額されない。寄附金全額が町の収入増となる。

A (町長) 総務省に他の自治体が金製品の返礼品をしているとの照会はしなかった。ただし、県や三田市に照会し、三田市には、事情を詳しく聞いた。

Q 県には、三田市の事例をあげて照会したとのことだが、総務省には照会していないのか。

A (町長) 総務省にはしていない。県から

していない。県から



返礼品のイメージ



山下 議員

全国各地で地震・高潮等、避難を要する災害が起きている。

本町では、スムーズな避難のためハザードマップが整備されているが、ペット同行避難に関する記載が見あたらない。

環境省のHPにはガイドラインが設けられ、フ



井下 議員

世界中がものすごい速さで変貌する中、遅れをとることなく「直島ブランド」をさらに魅力あるものにするため、未来を見据えた発想と実行性を、町と議会が共有し前に進めるため、SDGsの『住み続けられるまちづくり』について質問する。



①オーバーツーリズム対策、また

持続可能な観光地に向けた検討を目的に、観光関係等民間企業と連携した

「ペット同行避難」掲載を

「町長」ハザードマップ以外で検討

ロー図の掲載もある。

新年度予算の中にハザードマップの更新がある。この機会に「ペット同行避難」を加え、町民にわかりやすく掲載できないか。

A (町長) ペットが大切な家族であることは理解できる。ペットの同行避難は町におい

ても重要な課題だ。環境省のガイドラインに同行避難推進の基本方針が示されているし、他の自治体もペット受け入れは可能との明記があるのは承知している。

ハザードマップに記載してとの指摘だが、マップの目的は、町民の安全安心のため事前の情報共

共有手段として作成している。

また、避難所は災害規模等により、収容人数やスペースが異なり、福祉優先利用も想定されるため、ペット同行可との明記は運営との齟齬が生じ、混乱すると考える。

町では地域防災計画において「衛生面に留意しながら避難動物を収容するスペースを確保するよう努める」とHPに記載している。

入島税は絶対に必要だ

「町長」白紙状態だ

「官民一体」の組織を立ち上げ目的に向けた対策を始めてはどうか。

小豆島では既に「20年先の小豆島をつくるプロジェクト」を立ち上げ動いている。

A (町長) 小豆島のプロジェクトは、民間組織と土庄・小豆島2町が連携し、未来を見据えた持続可能な産業の創出を目指している。

町では今年度、三菱・ベネッセ・商工会等各種団体で構成された官民協

働の組織「直島町まちづくり協議会」を新たに立ち上げ、取り組みを進めていこうと考える。



②陸上交通の改善策について。町

営バスの改善は、以前から話題にあがるも進んでいない。利用者の9割以上が町外者である現在、町外者は料金UP、町民無料とすべきでは。また、キャッシュレスの導入も考えるべきだ。

同時に、将来に向けて「グリーンスローモビリティ」の導入の検討を

「ペットがいるから避難しない」「置いて行けない」との声は多い。

HPの見やすい場所に掲載してもらえないか。

A (町長) 一部その部分だけ載せるのは可能だ。今後検討する。

「入島税導入」について。入島税は、

法に基づき運行しており、議員の提案は適切ではない。キャッシュレス導入については、引き続き検討していきたい。

グリーンスローモビリティ導入は、費用対効果の問題や、ほかの地域の実証実験結果から、現実的ではないと考える。

直島は、瀬戸内の自然にみごとに溶け込んだ現代アートが点在する、オンラインワンの価値がある島。その価値を求めて来てくれる多くのお客様が気持ちよく楽しんで、直島の思い出がずっと心に残るよう、環境整備等に

「ペットがいるから避難しない」「置いて行けない」との声は多い。

HPの見やすい場所に掲載してもらえないか。

A (町長) 一部その部分だけ載せるのは可能だ。今後検討する。

持続可能な観光地を実現し継続させるには絶対に必要な施策であり、将来的に財政面で取り返しのつかないことになる可能性がある。

直島は、瀬戸内の自然にみごとに溶け込んだ現代アートが点在する、オンラインワンの価値がある島。その価値を求めて来てくれる多くのお客様が気持ちよく楽しんで、直島の思い出がずっと心に残るよう、環境整備等に

同じ瀬戸内の広島県宮島もオンラインワンの島であり、既に入島税を導入している。宮島を参考に

ぜひとも導入の検討を。

A (町長) 宮島は令和5年9月から導入が始まったが、令和元年から検討委員会を設置、県・国との協議、アンケート実施等、時間とマンパワーを費やして実現した。

現在の当町の体制では難しい。現在、県で宿泊税導入を検討中で、決まれば当町も検討する。

入島税は白紙状態だ。その他の質問 「災害発生時の対応について」 「避難指示連絡体制は」 「来島者の誘導体制は」 「非常食の備蓄量増を



ハザードマップ

人事

委員さん よろしく

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会の委員として、山本貞二氏の選任に全員賛成で同意しました。

任期は令和8年3月15日から3年間



山本 貞二 氏

表彰

自治功勞で表彰

全国町村議会議長会から、町議会に地域の振興発展などに寄与した功績に対し、直島町議会が表彰を受けました。

全国町村議会議長会から、議長として地域の振興発展に寄与した功績に対し、井下議長が表彰されました。

香川県町村議会議長会から、地方自治の振興発展に与した功績に対し、西岡議員が表彰されました。



〈第1分団新屯所を視察〉



3月10日、議員協議会終了後、新しく完成した第1分団屯所を議員全員で視察しました。

設備が整っており、予期せぬ災害に見舞われた時には心強く感じました。

委員会レポート

経済・民生

山下 委員長

中根 委員長

総務・文教

看護師だけでなく 保健師・社会福祉士も

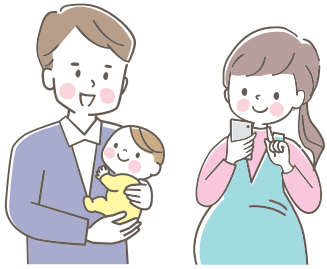
4月より小・中学校の 給食料無償化!

〔診療所〕
令和7年度診療状況 (1月末)
入院患者数 70人
 (前年度 363人)
外来患者数 8868人
 (前年度 10023人)
時間外救急患者数 187人
 (前年度 261人)
〔住民福祉課〕
社会福祉協議会事業 (1月末)
サロン事業売上金額 4919千円

〔総務課〕
消防団年末特別警戒
12月27日～30日
延べ出動団員 165人
消防団出初式
1月11日
参加団員 75人
衆議院議員総選挙投票開票
2月8日
投票数 15001票
投票率 61.04%
直島町表彰
第一分団 操法チーム

〔健康推進室〕
対象者を拡大
看護学生修学資金貸付
条例は、保健師・社会福祉士を目指す学生にも貸付を開始する予定
物価高子育て応援手当
子ども1人当たり2万円を給付
〔建設経済課〕
営業日数 256日
福祉有償運送事業利用件数
高齢者 563件
障がい者 1157件

〔まちづくり観光課〕
生活応援クーポン券支給事業
全町民に2万円分支給
4月17日から利用開始
ふるさと納税
1月末現在 325件
35215千円
〔課長〕 一般のふるさと納税の企業版で返礼品はない。町内の企業はできないが、本社が



母子手帳アプリ導入
令和10年までには導入
従来の手帳と併用になる



今年度の表彰者

町外であればできる。主に税金対策として行なう。
〔教育委員会〕
教育委員会表彰

〔環境水道課〕
エコアイランドなおしま推進委員会
12月16日開催
事業報告及び令和8年度活動計画(案)等を審議
1月23日・2月12日開催
玉野市水道事業審議会
〔建設経済課〕
「おもつき」
12月13日実施
参加者 105人
鳥獣捕獲数 (1月末)
カワウ 22羽
タヌキ 26匹
カラス 6羽
イノシシ 38頭
ヌートリア 3匹
松くい虫防除
樹幹注入を天皇神社エリア(5地区を順番)で実施
被害木処理(町単独)

〔建設経済課〕
「おもつき」
12月13日実施
参加者 105人
鳥獣捕獲数 (1月末)
カワウ 22羽
タヌキ 26匹
カラス 6羽
イノシシ 38頭
ヌートリア 3匹
松くい虫防除
樹幹注入を天皇神社エリア(5地区を順番)で実施
被害木処理(町単独)

〔環境水道課〕
エコアイランドなおしま推進委員会
12月16日開催
事業報告及び令和8年度活動計画(案)等を審議
1月23日・2月12日開催
玉野市水道事業審議会
〔建設経済課〕
「おもつき」
12月13日実施
参加者 105人
鳥獣捕獲数 (1月末)
カワウ 22羽
タヌキ 26匹
カラス 6羽
イノシシ 38頭
ヌートリア 3匹
松くい虫防除
樹幹注入を天皇神社エリア(5地区を順番)で実施
被害木処理(町単独)

〔建設経済課〕
「おもつき」
12月13日実施
参加者 105人
鳥獣捕獲数 (1月末)
カワウ 22羽
タヌキ 26匹
カラス 6羽
イノシシ 38頭
ヌートリア 3匹
松くい虫防除
樹幹注入を天皇神社エリア(5地区を順番)で実施
被害木処理(町単独)

移転

東門

新酸素工場建設中

直島製錬所現状説明会

3月10日、三菱マテリアル株式会社直島製錬所の現状についての説明会を開催。マテリアルから清谷所長、横山事務部長、町執行部から町長、副町長、担当課長の出席をいただいた。

はじめに清谷所長から、日本の銅製錬の収益構造について説明があり、2000年代途中までは銅価が上昇すると加工賃も上昇するスキームがあったが、現在ではそれはなくなり、たいへん厳しい状態となっていると説明を受けた。次に銅製錬を取り巻く環境として、鉱山会社の寡占化、資源ナシヨナリズム、中国の市場原理を度外視した銅精

鉱買ひ漁り、エネルギーコストの高止まり、資材費、工事費、労務費の高騰、国内市場(銅・副産品)の縮小化、人材確保の困難化など説明いただいた。最後に直島製錬所増強プランについて説明され、内容として金銀滓(E-スクラップ)の処理比率をアップ、銅精鉱処理15%

アップ、金銀滓(E-スクラップ)処理32%アップ、新酸素工場建設、ボイラー増強、硫酸工場増強、金銀滓(E-スクラップ)サンプリング増強等の説明をいただき、2027年4月より増処理開始、全般的に計画通り進捗しているとの報告を受けた。2027年1月(3月の2・5カ月の炉修時に最終的な工事を予定している)と説明を受け、質疑応答に入った。

井下委員 銅精鉱処理アップのための工場施設の炉とかその他の施設の改造は必要なのですか。

清谷所長 それは大丈夫だと思っている。インドネシアは直島と同じ設備でそれ以上の銅精鉱処理ができています。

西岡委員 増産するとスラグも増え、置き場がいっぱいになると思うが。

清谷所長 船に積み込む設備を強化して倍くらいの早さで積み込めるようにしているが、受入量の確保は大丈夫か。

小野委員 銅精鉱の市場で中国がとんでもないことをしているが、鉱石は入ってくるのか。

清谷所長 今銅精鉱の市場で中国がとんでもないことをしているが、鉱石は入ってくるのか。

井下委員 人材確保困難化のところだが、機械化、自動化、ITを使って時代にあったようにするのか。

清谷所長 人材は入ってはくるが、辞める人が多い。物流に関しては、将来的に機械化していかなければいけないと思っ

浜口委員 E-スクラップには、少量だがレアメタルが入っている。将来何とかできないか。

清谷所長 現時点では考えていない。

清谷所長 説明を受け、製錬所の現状説明会を終了した。

(中根 記)



子育て世代の希望に

がんばりよるで



並河さん



後列右から
尾崎さん
山本さん
中列右から
西岡さん
本橋さん
雉子谷さん
前列右から
本位田さん
並河さん

今回ご登場いただくのは、幼児学園の上でがんばりよる、セイラーズクラブの皆さんです。

Q 並河さん、こんにちは。本日はよろしくお願います。まず、発足年月日を教えてください。

A (並河) ナオシマセイラーズクラブは、2023年4月にオープンしました。

Q 現在のスタッフは何人いますか。お名前は。

A (並河) 11人です。

雉子谷真希・山本里美

西岡美紀子・吉永翔子

下道聖子・小松原美千代

尾崎奈々・伊藤みなみ

本橋絵里・本位田いちか

並河怜です。

Q セイラーズクラブを利用できる対象者はどうなっていますか。

A (並河) 預かりは小学生、遊び場は小学生〜高校生、カフェはどなたでもご利用いただけます。

Q 利用時間はどのようになっていますか。

A (並河) 月曜日〜金曜日



日の預かりは下校後〜18時、土曜日等は8時〜18時です。主に土曜日の午後に遊び場として開放しています。

Q 利用料金はどのようになっていますか。

A (並河) 預かりの基本料金は月額3500円〜5500円です(土曜日や学校休業日は追加料金)。遊び場は年額登録料3000円でご利用いただけます。

Q スタッフの皆さんに質問です。大変なこと、逆に良かったことはありますか。

A (スタッフ) いろんな年齢やバックグラウンドの子どもたちが一緒に楽しく遊んでいるのを見るとうれしいです。子ども

もスタッフも得意なこと、苦手なことを補いあえるのが良いと思う。大変ではないですが、その場その時の子一人ひとりに合った対応に、試行錯誤を重ねています。

Q 利用される親子さんの反応はどうですか。

A (スタッフ) 子どもたちにはいろいろな学年の子どもや大人と関わって楽しい。保護者の方には、楽しいことや辛いことをシェアできる居場所があって良い。調理実習やアートワークショップ等、さまざまな体験ができて貴重と言っていただけている。

Q 今後こうなっていきたいの思いは。また、町



民の皆さんにメッセージをどうぞ。

A (並河) たくさんの地域の方々のご協力のもと、さまざまな活動ができていてありがたい限りです。ご利用いただく子どもたちも、関わる大人も、直島でのみんなの生活が一層楽しくなるよう、ご協力を得ながら運営していきたいと思っています。皆さんぜひ遊びに、見学に来てください。

セイラーズクラブの皆さん、本日はありがとうございました。共働きの家庭が増えている現在、利用者は増えていくと思われます。子育て世代の希望となりますように。私たちも応援しています。



編集後記

東日本大震災から15年が経った。その傷跡は今なお多く残されている。大切な人がどこかで生きているのではとの家族の思い。テレビに映った仏壇にはへその緒が見つかった乳児の写真。津波に流され、いまだに見つかっていない家族を探して、海岸の土を掘り返す。海に潜って妻を探しているのをニュースで見ると、胸が締め付けられる。15年でひと区切り・節目だという人もいるが、家族にはいつまでも区切りや節目なんてない。

南海大地震は必ず起きる。明日かもしれないという意識をもって備えよう。

(浜口 記)

広報編集特別委員会

委員長 井下 良雄
副委員長 山上 英一
委員 山下 玲子
小野 孝一
西岡裕喜広
中根 清孝
浜口 敏夫